



2020年 8月17日  
第21号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



【書籍紹介】

## 帰郷

著：浅田 次郎

集英社文庫 580円(本体)+税

〈書籍の内容〉

いまこそ読んでほしい反戦小説集  
戦争に運命を引き裂かれた名もなき人々。  
大佛次郎賞受賞作（第43回）

戦争は、人々の人生をどのように変えてしまったのか。帰るべき家を失くした帰還兵。ニューギニアで高射砲の修理にあたる職工。戦後できた遊園地で働く、父が戦死し、その後母が再婚した息子……。戦争に巻き込まれた市井の人々により語られる戦中、そして戦後。時代が移り変わっても、風化させずに語り継ぐべき反戦のこころ。戦争文学を次の世代へつなぐ記念碑的小説集。第43回大佛次郎賞受賞作。



（文・画像：集英社ホームページより）

8月15日は75回目となる終戦記念日でした。戦争経験者が少なくなる中で、二度と戦争を起こさないために、戦争の実態や恐ろしさをどう次の世代に語り継いでいくかということは私たちの課題です。

「鉄道員」で有名な著者の浅田次郎さんは、父母が戦争経験者である「戦後第一世代」です。「帰郷」では、戦争によって家族や大切な人との当たり前の生活が簡単に壊され、自らの手ではどうにもならない現実が降りかかる人々の様子がリアルに描かれています。戦中、戦後を生きた人々に降りかかった出来事は“運命”と片付けてしまうには、あまりにも残酷だと感じます。

現在、日本では先制攻撃と受け取られかねない敵基地攻撃能力の保有の検討もされています。戦後75年と言われますが、本当に『戦後』なのでしょうか。今一度、本を読むことで戦中、戦後の人々の人生を追体験し、平和の大切さを再認識しましょう。

**読書を通して戦中、戦後を生きた人々の人生を追体験しよう！**  
**平和の大切さを再認識しよう！**